

# かもがわ

# 議会だより


令和2年(2020年)  
**8月15日**

**第62号**

発行 鴨川市議会報編集委員会

〒296-8601 鴨川市溝渚1450番地 電話04(7093)7825

ホームページURL <http://www.city.kanogawa.lg.jp/>

- 
- ### 第2回定例会の主な内容
- 議会の新体制スタート…… 2
  - 議案質疑…… 4
  - 議案に対する討論…… 5
  - 常任委員会の審査内容…… 6
  - 一般質問(レィアウト変更)…… 9
  - 議決結果…… 12
  - 賛否の公表・用語解説…… 13
  - 第2回臨時会の概要…… 14
  - 中学生だより…… 16



**フナイロ**  
まちを好きになるアプリ  
※広報紙をスマートフォンやタブレットで

西条小学校2年生の皆さんが図書館を社会科見学

夏休みを前に図書館の利用方法などを真剣に学習していました(令和2年7月10日)



# 議会の新体制が スタートしました!!

議長に 平松 健治 議員  
副議長に 鈴木 美一 議員を選任



副議長

鈴木 すずき

美一 よしかず

建設経済常任委員会委員長、  
予算常任委員会副委員長  
などを歴任



議長

平松 ひらまつ

健治 けんじ

予算常任委員会委員長、  
文教厚生常任委員会副委員長  
などを歴任

## 就任のごあいさつ

市民の皆さまには日頃から本市議会に対しまして深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

6月定例議会におきまして、議長並びに副議長に就任いたしました。身に余る光栄であるとともに、その重責を痛感しているところでございます。

議長として公平、公正で秩序ある円滑な議会運営に努めてまいり所存です。

さて、本市では、昨年は台風・暴雨により甚大な被害を受けました。

さらに今回の新型コロナウイルスの影響により、1次産業から観光業等の産業界、そして市民生活を含めた全般に大きな被害をもた

らしており、復興に向けての課題が山積みとなっております。

今後についても、温暖化の影響による台風・暴雨災害への懸念、コロナの第2波、第3波の課題、少子高齢化、人口減少から起こるさまざまな課題等の解決に向け、議論を尽くしてまいります。

具体的には、今後のまちづくりについて、各専門委員会や必要により新たに研究会や小委員会を立ち上げるなど、市民の皆さまが安全で安心して暮らせる本市の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

市民の皆さまには、引き続き議会にご注目いただき、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 委員会・一部事務組合議会議員等の紹介

◎ 委員長 ○ 副委員長

### 議会運営委員会

- ◎ 杉田 至
- 渡邊 仁
- 庄司 朋代
- 福原 三枝子
- 川崎 浩之
- 川股 盛二
- 佐藤 和幸

### 文教厚生常任委員会

- ◎ 川崎 浩之
- 本吉 正和
- 鈴木 美一
- 佐藤 和幸
- 杉田 至
- 長谷川 倫秀

### 建設経済常任委員会

- ◎ 川股 盛二
- 松井 寛徳
- 平松 健治
- 庄司 朋代
- 佐久間 章
- 秋山 貢輔

### 総務常任委員会

- ◎ 渡邊 仁
- 福原 三枝子
- 辰野 利文
- 渡辺 訓秀
- 久保 忠一
- 佐々木 久之

### 監査委員(議会選出)

辰野 利文

### 千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員(定数1)

鈴木 美一

### 安房郡市広域市町村圏事務組合議会議員(定数2)

平松 健治  
庄司 朋代

### 議会報編集委員会

- ◎ 佐々木 久之
- 庄司 朋代
- 鈴木 美一
- 平松 健治
- 久保 忠一
- 本吉 正和
- 長谷川 倫秀
- 秋山 貢輔

### 決算常任委員会

- ◎ 佐藤 和幸
- 福原 三枝子
- 渡辺 訓秀
- 鈴木 美一
- 久保 忠一
- 渡邊 仁
- 川股 盛二
- 佐々木 久之
- 秋山 貢輔

### 予算常任委員会

- ◎ 庄司 朋代
- 杉田 至
- 辰野 利文
- 平松 健治
- 佐久間 章
- 川崎 浩之
- 本吉 正和
- 松井 寛徳
- 長谷川 倫秀

### 広域行政調査特別委員会

- ◎ 佐久間 章
- 佐藤 和幸
- 辰野 利文
- 庄司 朋代
- 佐々木 久之
- 杉田 至
- 松井 寛徳
- 長谷川 倫秀

### 道路問題調査特別委員会


- ◎ 渡辺 訓秀
- 福原 三枝子
- 久保 忠一
- 渡邊 仁
- 川崎 浩之
- 川股 盛二
- 本吉 正和
- 秋山 貢輔

## 表彰

第96回全国市議会議長会定期総会において、市政の振興と地方自治の発展に尽くされた功績により、本市議会から次の議員が表彰されました。

▼特別表彰  
(議員20年以上)

辰野 利文 議員



## 会派・党派

現在の会派および党派の構成は次のとおりです。

### ◆誠和会(せいわかい)

会長 辰野 利文  
副会長 鈴木 美一  
幹事長 川股 盛二  
庶務 長谷川 倫秀  
会計 秋山 貢輔  
佐久間 章

### ◆明政会(めいせいかい)

会長 川崎 浩之  
副会長 松井 寛徳  
兼会計 松井 寛徳  
幹事長 佐々木 久之  
顧問 渡辺 訓秀

### ◆公明党

福原三枝子



# 令和2年度一般会計補正予算など41議案を可決・同意・答申

## 6月定例会

令和2年第2回定例会は、6月10日から6月25日までの16日間の会期で開かれました。

この定例会では、市長から提出された38議案と議員提出の4件の発議案のうち、41議案は原案のとおり可決・同意・答申されましたが、監査請求に関する決議についての1議案は否決となりました。なお、陳情2件は、審査した結果、採択となりました。

6月15日には、6人の議員が登壇し、市政全般に関する一般質問を行いました。

6月16日及び6月25日には、庄司朋代議員・久保忠議員・渡邊仁議員・佐久間章議員・川股盛二議員・佐藤和幸議員・杉田至議員・本吉正和議員・松井寛徳議員・長谷川倫秀議員が議案に対する質疑を行いました。

### 議案に対する質疑

#### ◎議案第40号 鴨川市特別職の職員及び一般職の職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

職員給与の削減によってどの程度の財源が捻出されるのか。

既に行われている455万8000円の削減額と合わせ、全体で4785万円となる。

削減割合を100分の1から100分の5とした根拠は。

現行の削減率である8級の部長職の100分の5を基準とし、職責に応じて段階的に削減した。若年層である2級及び1級、これらに準ずる職員については削減しないこととした。

今後の職員給与削減の見通しは。

人件費の抑制については、職員数の削減を含め、さまざまな視点から検討していく。

◎議案第52号 鴨川市過疎地域自立促進計画の一

部変更について

小湊小・中学校跡地利用に関し、民間が参入できるテナント、物販機能をも有する施設等整備の具体的内容は。

今後、参入事業者からの意見聴取も行いながら、具体的な整備に向けた検討を進めていく。

県内で唯一、一部過疎の指定を受けている本市だが、令和2年度で一部過疎指定が終了した場合はどうなるのか。

疎対策事業債を活用する事業は大きな影響を受ける。

国のみなし過疎、一部過疎制度の検討状況は。

総務省の過疎問題懇談会から、平成の合併による合併市町村については、財政力に留意しつつ、これまでの一部過疎と同様の制度を設けることも検討していくべきとの提言がなされた。

今後国は、要望活動などと積極的に進めていきたい。

◎議案第55号 令和2年度鴨川市一般会計補正予算(第3号)

(仮称)小湊さとうみ学校整備事業7億5421万円について、新型コロナウイルス感染症の拡大により、地域の観光関連業、基幹産業が大打撃を受けている中で、宿泊施設を伴う同整備事業を進める合理性は。

新型新型コロナウイルス

感染症による地域経済への影響は大きいですが、将来に向けた活性化への取り組みも着実に取り組んでいく必要がある。

令和3年度以降の過疎対策事業債の活用にも不確定な部分がある中で、宿泊関係者には、基本設計の段階から事業内容等を説明して意見をいただいております。これまで市内になかった施設を整備することにより、宿泊関係者と一体となって本市の活性化、観光振興に結びつけていきたい。



(仮称)小湊さとうみ学校整備事業の全体イメージ図



**問** 宿泊関係者との話し合いはいつ頃行われ、どのような意見が出たのか。

**答** 今回の事業予算を6月補正に計上する旨、5月上旬に報告した。

積極的な賛成とはいかないが、協力し、一緒にやっけていきたいとの意見もあった。今後も市内で共存できるように協議を進めていく。

**問** 次の定例会まで待つての提案はどうか。

**答** この時期での上程でなければ、年度内の完成は難しい。

**問** 施設設計の検討に対し、実際に運営する事業者の意見は反映されているのか。

**答** 施設整備の検討に対しては、地域の皆さまの声、スポーツ大会や合宿団体等を取り扱っている事業者からの意見を聞いた。

**問** 実際に管理運営を行う事業者をどのように決定していくのか。

**答** 令和2年第3回定例

会において、当該施設の設定管理条例を提出し、その後、指定管理者の選定手続きを進めていく。

**問** 海辺の魅力づくり推進事業、民間参入可能性調査委託料500万円について、事業の委託先はどこになるのか。

**答** 公募型プロポーザル方式により委託事業者を決定する。



旧市民会館周辺の整備に関する調査を実施

**問** 当初予算に同事業が含まれていたのでは。

**答** 含まれていない。

**問** 財源である民間資金等活用事業調査費補助金

の限度額、要件は。

**答** 限度額は1000万円、民間事業者導入の可能性や調査対象企業の企業価値の査定、リスク調査、公共施設等の運営事業の導入に必要な調査などに活用可能である。

◎議案第61号 鴨川市農業委員会委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を4分の1以上とすることにつき同意を求めることについて

**問** 現在、認定農業者は何人いるのか。

**答** 個人、法人合わせて85人である。

**問** 農業者には、耕種農家、園芸農家、あるいは畜産農家等が存在するが、バランスのとれた農業委員の選出が必要では。

**答** 営農類型についての要件はないが、委員の年齢、性別等に著しい偏りが生じないよう青年または女性の任命についても考慮した。

◎議案第75号 令和2年度鴨川市一般会計補正予算(第4号)

**問** ひとり親世帯臨時特別給付金事業のスケジュールと周知方法は。

**答** 7月中に児童扶養手当受給者を対象に案内通知を発送し、1世帯5万円、第2子以降、子ども1人につき3万円の基本給付分は8月中に支給する予定である。

周知は、広報、ホームページでのお知らせやチラシを作成して行っていく。

**問** ひとり親世帯臨時特別給付金の申請期限は。

**答** 令和3年2月末までである。

◎議案第16号 監査請求に関する決議について

**問** 監査委員は出資法人に対して、どこまで監査ができるのか。

**答** 市は資本金、基本金、その他これらに準ずるものの4分の1以上出資する法人について、監査を

行うことができるが、当該法人の事務そのものを監査することは、監査委員の権限外であると解され、出納及び出納に関する事務が監査対象になるものとされている。



◎議案第40号 鴨川市特別職の職員及び一般職の職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**反対 福原三枝子 議員**

一般職の職員の給与削減まで考える財政悪化の原因は、一例として強引に押し通した各種事業の支出額の増大などの市政運営にあると考える。

各種事業の見直し、縮小、延期などで職員の給与と削減額相当を確保すべきで、現段階での一般職の職員の給与削減はするべきではないと考え、反対とする。

**◎議案第55号** 令和2年  
度鴨川市一般会計補正予  
算(第3号)

**反対 久保 忠一 議員**

7億5000万円あまりの予算が計上されている(仮称)小湊さとうみ学校整備事業は、長年、慎重かつ具体的に計画されたもので、それ自体を否定するものではないが、今回の新型コロナウイルスが産業構造に重大な影響を及ぼしていることに鑑み、一度立ち止まって考えるべきと考え、不本意ながら反対とする。

**◎発議案第16号** 監査請求に関する決議について

**反対 鈴木 美一 議員**

第三セクターである株式会社鴨川マリン開発は、その設立目的から公益性、公共性が高く、経営状況等の把握など一定の関与は必要であると考え、一方、市と独立した経営主体であることから、その経営に当たっては、自らの責任と判断によ

て健全経営に努めるべきと考える。

また、監査委員は、出資法人自体の事務そのものの監査を行うことは権限外とされていることなどから総合的に判断し、本事業について議会が監査の要求をすることは適当ではないと考え、反対とする。

**賛成 杉田 至 議員**

今回の請求は、民事訴訟に至った株式会社鴨川マリン開発の不法行為と主張された具体事項、原告と和解するまでの裁判審理の経緯及び具体的な和解条項に関するものであり、いずれも本市の事務として捉えられる範囲での監査とその結果報告を求めるもので、もとより監査委員の権限が及ばない事項について監査を求めるものではない。

市民の関心度が極めて高い一連の事案について、議会として市民の皆さまに、しっかりとした説明

責任を果たしていく必要があると考え、賛成とする。

**反対 久保 忠一 議員**

今回の監査請求を行うことにより、果たしてどれだけの実効性があるのか疑問に感じる。

議会自らが、市民の代表として直接監査、調査を行っていくことが市民の意に沿うのではないかと考え、今回の監査請求自体を否定するものではないが、反対とする。



鴨川マリン開発が管理運営する  
フィッシャリーナ鴨川

**◎議案第75号** 令和2年  
度鴨川市一般会計補正予  
算(第4号)

**賛成 本吉 正和 議員**

今回の補正予算には、国の低所得のひとり親世

帯に対する臨時特別給付金に上乗せして、子ども1人につき1万円を給付する本市独自の事業も含まれている。この上乗せ1万円給付は、ひとり親世帯にとって大きな支援となるものであり、本市財政状況が逼迫している中で、英断であると評価し、賛成とする。

## 常任委員会の 審査内容

各常任委員会に付託された議案の  
審査内容の主なものを掲載します。

**予算常任委員会**

**◎議案第55号** 令和2年  
度鴨川市一般会計補正予  
算(第3号)

**問** (仮称)小湊さとうみ学校整備事業は、確実に過疎対策事業債を活用できるのか。

**答** 既に申請済みで、雇用創出特別分に該当するため優先的に配分される予定である。本市の一部過疎地域の指定は令和2年度までだが、次年度以降、旧中学校舎や園舎等の整備が残っているため、経過措置が設けられた場合には有効に活用し、対象外となった場合は他の起債の活用を検討する。

**問** 一部過疎地域の存続に向け他団体との連携は、

**答** 要望活動を継続し、しっかりと取り組む。

**問** 完成後の集客に向け取り組みは、

**答** スポーツ大会や団体合宿等を取り扱っている事業者を指定管理者とし、集客、営業を行っていただき、市としても潜在需要を掘り起こし、新たな誘客に取り組む。

**問** 今回、国の補助金を活用して、★指定介護療養型医療施設から介護医療院に転換する東条病院以外に転換予定の施設は、

★：13 ページの用語解説をご参照ください



**答** 療養型病床を有しているのは、エビハラ病院、小田病院、市立国保病院で、今後の動向把握に努めるが、次年度以降の転換補助金は現時点では明確に示されていない。

**問** 森林環境整備基本計画策定の財源は。また、整備事業の内容は。

**答** 森林環境譲与税を用いて策定し、次年度から優先度の高いエリア順に、地権者の意向を確認した上で、間伐、除伐、枝打ち、下草刈り等を行う。

**問** 地権者の負担は。

**答** ない。なお、植林後、おおむね5年程度は市が管理する。

**問** 商品券付宿泊プランの配分は。

**答** 宿泊施設の収容人数割合で配分する。

**問** ★2GIGAスクール構想で、児童・生徒に整備するタブレットパソコンは家庭に持ち帰れるのか。

**答** 感染症等で再度の臨時休業も想定されるため、

家庭でのオンライン学習等を想定して整備する。

**問** 中学校プール使用料の減額とは。

**答** 鴨川中学校の民間プール使用分で、感染症対策のため、市内全校で水泳学習は中止とした。

### 総務常任委員会

◎議案第40号 鴨川市特別職の職員及び一般職の職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**問** 一般職の給与削減に至った理由は。

**答** 財政状況が厳しく、今後に備え、職員組合の理解をいただき、削減措置を行うこととした。

**問** 職員組合との協議の中で職員から身を削ろうとの意見が出たのか。給与削減でなく、市内での買い物等による還元を主張する意見はなかったか。

**答** 具体的な意見はなく、即効性のある手段として、給与削減を選択した。

**問** 職員のモチベーションを低下させないための取り組みは。

**答** 一方通行ではあるが、市長から職員にメッセージを送り、周知を行った。今後は、職員の意見を聴く場を設け、コミュニケーションを図る。

**問** 特別職及び一般職職員の給与削減額4785万円の充当先は。

**答** 充当先は特定していない。

**問** 削減目的、事情を説明し、職員に協力していただくことを予算編成の時に検討しなかったのか。

**答** 当初予算の段階でも話題となったが、財政調整基金や地域振興基金の活用により編成した。その後、新型コロナウイルス対策で財政が厳しくなったため協力を願った。

◎議案第52号 鴨川市過疎地域自立促進計画の一部変更について

**問** 過疎計画の中身は抽象的な表現ではなく、個

別具体的な表現が必要なのか。

**答** 過疎対策事業債を活用する上で、計画の該当箇所に具体的事業が明記されている必要がある。

### 建設経済常任委員会

◎議案第50号 鴨川市総合交流ターミナルの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**問** 各種加工品を製造するに当たって、食品営業許可は取っているのか。

**答** 食品衛生法に基づく営業許可は、製造する物によって許可の種類が異なるため、利用する方が事前に保健所の許可を取得することとなる。



新たに利用できることとなった加工室

◎議案第51号 鴨川市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**問** 保証人制度を廃止する場合のデメリットは。

**答** 緊急連絡先の確保や身寄りのない方が亡くなった場合の家財の処分などの対応、また家賃滞納への保障がなくなることを考えられる。

**問** 家賃の滞納が懸念されるということだが、その対応は。

**答** 現在も、保証人に対して滞納した家賃を直接請求したり、支払っていないといったという事例はない。家賃は、あくまでも入居者が支払うものであるため、今後は保証人に代わる方に緊急連絡先を届け出ていただき、その方を通じて入居者に対し、滞納家賃の請求、支払いを促してもらうことを検討している。

◎議案第59号 令和2年度鴨川市水道事業会計補

正予算(第1号)

**問** 横渚浄水場に発電機を設置する設計費用の財源として、国庫補助金229万9000円が計上されているが、給水区域の詳細は。

**答** 横渚浄水場の給水区域は、来秀、太尾、川代、大海、天面、宮、代のほか、貝渚、横渚、太夫崎及び仲町の一部地域で、給水戸数は3873戸、全体給水量のおおむね24%を占めている。

**問** 発電機の設計概要は。  
**答** 津波被害を考慮し、建物2階への設置を計画している。また、厚生労働省の基準により駆動時間は24時間以上、72時間以内とされているため、燃料タンクの容量は、24時間以上の駆動を確保する4000ℓで計画している。

**問** 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う水道事業予算への影響は。  
**答** 使用水量は、住居関

連施設での増加はあるものの、ホテル・旅館や商店、学校等の大口需要者の減少により、4月から6月の3カ月分の給水収益を前年同期と比較すると、おおむね1850万円の減収となっている。

文教厚生常任委員会

◎議案第44号 鴨川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

**問** ★<sub>3</sub>放課後児童支援員認定研修制度の概要は。

**答** 放課後児童支援員として、必要な知識、技能の習得と実践する際の基本的考え方や心構えを学ぶなど、有資格者となるための研修制度である。

**問** 現在、放課後児童支援員は何人いるのか。

**答** 鴨川が5人、田原・西条が7人、長狭が2人、江見が3人、天津小湊が4人、OURSが4人の

合計25人である。

◎議案第45号 鴨川市重度心身障害者の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**問** 精神保健福祉手帳1級の保持者は何人か。また、実際に今回の改正に伴い対象となる人数は。

**答** 令和2年4月1日現在では19人で、このうち生活保護受給者8人を除く11人が対象者となる。

◎議案第57号 令和2年度鴨川市介護保険特別会計補正予算(第1号)

**問** 本市の介護保険料の算定に係わる月額基準額は6000円であるが、県下の平均はどの程度か。また、次年度に策定される第8期介護保険事業計画の見込みは。

**答** 県下の平均は5175円である。本市の令和2年4月1日現在の高齢化率は38.3%で、次期計画以降も介護保険料の算定に係わる月額基準額

は増加していくものと考えられるが、介護給付費準備基金の取り崩しなどで介護保険料の上昇を抑制し、負担の軽減を図っていききたい。

◎議案第60号 令和2年度鴨川市病院事業会計補正予算(第1号)

**問** 医療器械等購入費2億1945万円の内訳は。

**答** 電子カルテをはじめとする医療情報システム導入費用1億8975万円と、システム関連経費2970万円である。

**問** これだけの費用をかけて、医療情報システムを導入する理由は。

**答** 外来待ち時間や検査時間、受付から会計までの時間短縮、さらには診療上の報酬単価の請求誤り防止等の観点から導入のメリットがあること、看護人材確保の観点から電子カルテと連動した部門システムの導入が必要であること。また、段階的な整備を

行った場合、接続に係る環境設定等の費用に多額の追加費用がかかることさらに部門システムを導入することで、診療行為の効率化や医療の質の向上、患者サービスの向上が図られることから、電子カルテだけではなく、連動する部門システムも合わせた医療情報システムを導入することとした。

**問** 医療器械等購入費は、当初の新病院建設事業費27億2200万円に含まれているのか。

**答** 当初の全体事業費の中には、含まれていないことから、別に今回、補正予算として計上したものである。



新病院の開院に向け建設が進む

★：13 ページの用語解説をご参照ください



# アフターコロナの支援策について

鴨川元気プロジェクトで支援する



誠和会  
秋山貢輔 議員

**新型コロナウイルスの対応、対策について**

**問** 本市の支援策の意思決定について。

**答** 誠和会からの要望も参考に、生活支援対策、地域経済対策、感染拡大防止対策の観点から必要と思われる事業を決定した。

**問** 誠和会からの要望でもある、ひとり親世帯の支援について。

**答** 国の第2次補正予算でも支援策が盛り込まれているが、地方創生臨時交付金を活用した本市独自の支援策を検討する。

**問** 各種支援策について、庁内全体で共通理解はされているのか。

**答** 庁内での情報共有や連携強化のため、所属長を構成員とする連絡会を

随時開催している。職員一人一人が自覚を持ち、市民の皆さまへの支援が円滑に進められるように取り組んでいく。

**問** 深刻な影響を受けている観光関係の事業者の支援について。

**答** 地方創生臨時交付金を活用した鴨川元気プロジェクトとして、商品券付宿泊プランの造成やプレミアム付商品券発行事業、鴨川シーワールドとの連携による★マイクロスーツリズムの推進、観光団体や商工会などの意見を伺いながら、さらなる支援を行っていく。

また、市内の医療機関と連携し、本市を訪れる方々が安心して過ごせる環境づくりを整備していく。



好評だったウェルカモキャンペーン

# 教育のICT化、オンライン化の構築は

オンライン学習に必要な機器の導入を進める



明政会  
川崎浩之 議員

**新型コロナウイルスに対する市の対応と対策について**

**問** 緊急事態宣言に伴う学校の臨時休業に対する本市の対応は。

**答** 国の要請に基づき、児童クラブの運営者に開所の働きかけを行い、市内6カ所の児童クラブのうち4カ所が、午後3時以降開所した。

また、やむを得ない事情により1人で自宅待機となる児童を対象に、臨時休業が終了するまで、全校において学校預かりを行った。

**問** 臨時休業中の穴埋めとして夏季休業を短くするなどの授業時数の確保についての対応は。

**答** 市内の全校において、原則、夏季休業の期間を8月8日から8月

23日の16日間に短縮し、100時間以上の授業時間を確保するなど、児童生徒の学習や学力の向上に支障が生じないよう努めていく。

**問** 夏にかけ観光シーズンに入るが、市が主催するイベント等の方針は。

**答** 現在、市主催の観光イベントの予定はないが、例年実施されていた鴨川市納涼花火鴨川大会及び小湊大会、渚のほこてん×LEDスカイランタンについては、感染拡大防止の観点から、各実行委員会の判断により中止や延期となっている。

本市としては、国や県が示す指針に基づき、今後のイベント等の開催の可否を判断していく。



本年度は海水浴場の開設も中止

★：13 ページの用語解説をご参照ください

## 観光関連業などの業績回復に向けた取組みは

市内事業者の皆さまと一丸となって取り組んで行く



無所属  
杉田 至 議員

**本市への観光誘客に向けた具体的施策について**

**問** コロナウイルス感染症拡大の影響により、業況悪化が特に顕著な観光関連業や飲食業などの業績回復へ向けた誘客並びに需要喚起施策への取組みとその推進体制は。

**答** 鴨川元気プロジェクトとして、観光客及び市民の皆さまの消費喚起に向けた宿泊プランの造成やプレミアム付商品券の発行事業を実施するため、今般の補正予算に4500万円を計上した。引き続き、国が実施するGOTOキャンペーンや復興イベントの実施支援など、地方創生臨時交付金のさらなる活用も踏まえながら、市内事業者の皆さまと一丸となっ

て取り組んでいく。

**問** 雇用の維持を図る観点から、事業主負担となる雇用調整助成金の申請代行手数料の一部を支援することができないか。

**答** 本市独自の支援策として、申請手数料の一部助成が可能となるよう前向きに検討していく。

**農林漁業事業者への支援策及び本市独自の施策について**

**問** 価格の低迷により、経営の逼迫が懸念される農林漁業事業者を対象とした支援策や本市独自の取組みは。

**答** 持続化給付金や経営継続補助金などの支援制度について、引き続き農協や漁協等と連携しながら、本市独自の支援策の創設についても前向きに検討していく。



コロナ対策に万全を期しての賑わいを!

## ひとり親世帯への支援、国の給付に加えて市の上乗せは

国の支援策と併せて市の上乗せ分を前向きに検討する



無所属  
本吉正和 議員

**子どものワクチン接種率の低下について**

**問** このコロナ禍の状況では、乳児を連れて病院に行くことには抵抗がある。本市の乳児ワクチン接種率は低下傾向にあるのか。

**答** 3月以降の受診者が減少していることから、感染を懸念して予防接種を差し控えた保護者がいる。

**問** 市は乳児ワクチン接種を確実に行ってもらうために、どのような活動をしているのか。

**答** 保健師等の新生児健診、1歳6カ月健診、3歳児健診、就学時健診、赤ちゃんゲートなどの各種健診の際に、予防接種の確認を行っている。

**問** このコロナ禍において仕事の減少や自宅待機

等により収入が減少し、家計を圧迫している。同僚議員の質問にもあったが、ひとり親世帯への支援、国の給付に加えて市の上乗せは。

**答** 国の支援策と併せて市の上乗せを検討する。※その後、国の5万円給付に市が1万円を上乗せする議案が上程され、全会一致で可決・成立した。

**児童虐待について**

**問** この休校中の3カ月間に、市当局は虐待が予想される児童・生徒に対し、どのような対応をしたのか。

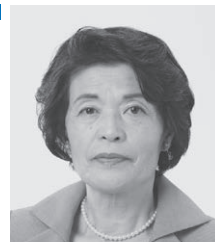
**答** 休校に伴う児童虐待リスクを踏まえ、電話等による連絡を週2回実施し、保護者とも意思疎通を図り、対面での指導の必要性が高いと判断した場合には面談を行った。





# 大規模災害時に宿泊施設も使用できる準備が必要では

大規模災害時のホテル等の利用について、県と調整を図る



公明党  
福原三枝子 議員

## 新型コロナウイルス感染症対策について

**問** 避難所における対策は

**答** 密閉、密集、密接の三つの密を防ぐため、安全な避難先として自宅・親戚や友人宅があれば、集団感染防止のための分散避難を呼びかける。

**問** 避難所に避難される方への対応は、手指消毒・マスクの着用、個々の簡単な問診・体温測定、1人当たりの避難スペースを広く取る、こまめな換気、保健師による巡回、別部屋や簡単テントによる隔離スペースの用意などの感染予防を行う。

**問** 避難体制の構築について。

**答** 避難所には必要に応じて福祉スペースや授乳スペースなどを設けるが、そこでの避難生活が

困難である場合は、二次避難所として福祉（高齢者や障害者）・母子避難所を開設する。

**要望** 公明党鴨川支部で

要望した38項目のコロナ禍の中での災害・経済・教育・医療等の対策も命と生活を守る支援策である。スピーディーな実行を要望する。

**株式会社鴨川マリン開発（市と鴨川市漁業協同組合が投資して、2001年に設立された第三セクター）について**

**問** 数度にわたり開催された臨時取締役会の内容や新聞報道から、運営において紛糾していると捉えるが、株主である市は、この原因をどのように考えているのか。

**答** 新聞報道がされていることは承知している。健全な経営が行われるよう、株主の立場としての責任を果たしていく。



# 第1次産業に対する市独自の支援策の早急な実施を

国や県の支援策が対象でない人達を救うための独自支援策は必要



無所属  
佐藤和幸 議員

## 新型コロナウイルス感染症等に対する各種支援策について

**問** 現状の農林水産物の価格低下や販路の需要停滞などに対する支援策が必要では。

**答** 里のM.U.J.Iみんなみの里の休館により販売先を失った生産者を支援するため、無印良品ネットストアで旬の野菜の詰め合わせを販売した。

**問** このようなネット販売は販路の確保として有効な手段の一つであり、今後も推進する。併せて6次産業化への支援として、開発工房の加工室の使用料を定める条例の改正を本定例会の議案として提出しており、販売先を失った農産物等を加工し、製品化につなげる取り組みとして利用促進に

努めたい。

また、鴨川観光プラウトフォーム株式会社において、ふるさと納税の返礼品として農産物等の検討を進めており、併せて同社によるネット販売も検討していく。

**問** 特別定額給付金が地域で消費されるための囲い込み策が必要では。

**答** 現在、消費喚起策の一つとして青空お得意が隔週金曜日、市役所駐車場にて企画・実施されている。

今後も、例年年末に実施しているスタンプラリーを夏に実施してもらうなど、商工会をはじめとする経済団体とともに消費喚起策を検討していく。



青空お得意の様子

# 令和2年第2回鴨川市議会定例会議決結果

## 【市長提出議案】

議案番号	件名	付託先委員会	委員会の審査結果	本会議の議決結果
議案第40号	鴨川市特別職の職員及び一般職の職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	可決	可決(賛成多数)
議案第41号	鴨川市税条例の一部を改正する条例の制定について	総務	可決	可決(全会一致)
議案第42号	鴨川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	可決	可決(全会一致)
議案第43号	鴨川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	可決	可決(全会一致)
議案第44号	鴨川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	可決	可決(全会一致)
議案第45号	鴨川市重度心身障害者の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	可決	可決(全会一致)
議案第46号	鴨川市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	総務	可決	可決(全会一致)
議案第47号	鴨川市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	可決	可決(全会一致)
議案第48号	鴨川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	総務	可決	可決(全会一致)
議案第49号	鴨川市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	可決	可決(全会一致)
議案第50号	鴨川市総合交流ターミナルの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	建設経済	可決	可決(全会一致)
議案第51号	鴨川市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	建設経済	可決	可決(全会一致)
議案第52号	鴨川市過疎地域自立促進計画の一部変更について	総務	可決	可決(全会一致)
議案第53号	市道路線の廃止について	建設経済	可決	可決(全会一致)
議案第54号	市道路線の認定について	建設経済	可決	可決(全会一致)
議案第55号	令和2年度鴨川市一般会計補正予算(第3号)	予算	可決	可決(賛成多数)
議案第56号	令和2年度鴨川市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	総務	可決	可決(全会一致)
議案第57号	令和2年度鴨川市介護保険特別会計補正予算(第1号)	文教厚生	可決	可決(全会一致)
議案第58号	令和2年度鴨川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	総務	可決	可決(全会一致)
議案第59号	令和2年度鴨川市水道事業会計補正予算(第1号)	建設経済	可決	可決(全会一致)
議案第60号	令和2年度鴨川市病院事業会計補正予算(第1号)	文教厚生	可決	可決(賛成多数)
議案第61号	鴨川市農業委員会委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を4分の1以上とすることにつき同意を求めることについて	付託省略		同意(全会一致)
議案第62号	鴨川市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	付託省略		同意(全会一致)
議案第63号	鴨川市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	付託省略		同意(全会一致)
議案第64号	鴨川市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	付託省略		同意(全会一致)
議案第65号	鴨川市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	付託省略		同意(全会一致)
議案第66号	鴨川市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	付託省略		同意(全会一致)
議案第67号	鴨川市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	付託省略		同意(全会一致)
議案第68号	鴨川市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	付託省略		同意(全会一致)
議案第69号	鴨川市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	付託省略		同意(全会一致)
議案第70号	鴨川市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	付託省略		同意(全会一致)
議案第71号	鴨川市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	付託省略		同意(全会一致)
議案第72号	鴨川市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	付託省略		同意(全会一致)
議案第73号	鴨川市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	付託省略		同意(全会一致)
議案第74号	損害賠償の額の決定及び和解について	付託省略		可決(全会一致)
議案第75号	令和2年度鴨川市一般会計補正予算(第4号)	付託省略		可決(全会一致)
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	付託省略		答申(全会一致)
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	付託省略		答申(全会一致)

## 【議員提出議案】

発議案番号	件名	付託先委員会	委員会の審査結果	本会議の議決結果
発議案第16号	監査請求に関する決議について	付託省略		否決(賛成少数)
発議案第17号	鴨川市議会議員の議員報酬の特例に関する条例の制定について	付託省略		可決(全会一致)
発議案第18号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について	付託省略		可決(全会一致)
発議案第19号	国における2021年度教育予算拡充に関する意見書について	付託省略		可決(全会一致)



【報 告】

報告番号	件 名	付託先 委員会	委員会の 審査結果	本会議の 議決結果
報告第3号	令和元年度鴨川市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について			
報告第4号	令和元年度鴨川市一般会計予算事故繰越し繰越計算書について			
報告第5号	令和元年度鴨川市水道事業会計予算繰越計算書について			
報告第6号	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定及び和解）			

【陳 情】

陳情番号	件 名	付託先 委員会	委員会の 審査結果	本会議の 議決結果
陳情第15号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する陳情書	文教厚生	可 決	採択（全会一致）
陳情第16号	「国における2021年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する陳情書	文教厚生	可 決	採択（全会一致）

議員の議案に対する賛否表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決年月日	結 果	賛 成	反 対
	秋 山 貢 輔	長 谷 川 倫 秀	松 井 寛 徳	本 吉 正 和	杉 田 至	佐 藤 和 幸	佐 々 木 久 之	川 股 盛 二	川 崎 浩 之	佐 久 間 章	福 原 三 枝 子	渡 邊 仁	久 保 忠 一	庄 司 朋 代	平 松 健 治	鈴 木 美 一	渡 辺 訓 秀	辰 野 利 文				
議案第40号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-	○	×	○	R2.6.25	原案可決	15	2
議案第55号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	○	×	○	R2.6.25	原案可決	15	2
議案第60号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-	○	○	○	R2.6.25	原案可決	16	1
発議案第16号	×	×	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○	×	×	-	×	○	×	R2.6.25	否 決	8	9

※ ○は賛成、×は反対、欠は欠席、退は退席（棄権）、除は除斥、遅は遅刻、早は早退、「-」は議長を表します。  
 (注) 1. 議長は、過半数議決の場合は表決に加わりません。ただし、可否同数の場合は裁決権を行使します。また、特別多数議決の場合は、議長は議員として表決権を有しています。  
 (注) 2. 除斥とは、議会の審議における審議の公正を期するため、審議事件と一定の利害関係を有するため審議に参加することができない議員です。

用語解説

★1「指定介護療養型医療施設」とは……	○長期にわたる療養を必要とする要介護者に対し、施設サービス計画に基づいて、療養上の管理、看護、医学的管理の下における介護その他の世話及び機能関連その他の必要な医療を行うことを目的とする施設。令和5年度までで廃止となり、介護医療院などに転換されていく。
★2「GIGAスクール構想」とは……	○文部科学省が、児童・生徒向けに一人一台の端末機と通信ネットワークを整備し、教育に役立てるもの。令和5年度までに実施する予定が、新型コロナウイルスによる社会状況の変化に伴い、令和2年度での実現に前倒しされた。
★3「放課後児童支援員」とは……	○平成27年度より新たに創設された資格。保育士、幼稚園教諭などの資格を持っている方が、都道府県知事、指定都市、中核市の長が行う研修を修了することで資格を取得でき、学童保育施設には、一定数以上の配置が義務付けられている。
★4「マイクロツーリズム」とは……	○自宅から1時間程度の移動圏内の「地元」で観光する近距離旅行の形態のこと。地元の魅力の再発見と地域経済への貢献を念頭にした旅行形態である。

## 第2回臨時会

### 令和2年度鴨川市一般会計補正予算(第2号)など 5議案を可決・承認

令和2年第2回臨時会は、5月19日の1日間の会期で開かれました。この臨時会では、市長から提出された5議案について、いずれも原案のとおり可決・承認されました。

これら5件の議案に対し、久保忠一議員・福原三枝子議員・佐々木久之議員・佐藤和幸議員・杉田至議員・本吉正和議員が質疑を行いました。

#### 議案に対する質疑

◎議案第35号 鴨川市税

条例等の一部を改正する  
条例の専決処分の承認を  
求めることについて

**問** 令和2年度において  
固定資産所有者の死亡な  
どにより所有者不明となっ  
ている課税客体の件数や  
税額、調定総額に対する  
割合は。

**答** 令和2年度第1期納  
期時点において、所有者  
が不明等により納税通知  
書が送達できない公示送  
達者件数は114件で、  
年税額では202万35

00円であり、当初調定

額21億3759万140

0円の割合では約0.1%

である。

**問** 課税の有無に関係な  
く、固定資産の現所有者  
を把握する対応は行って  
いるのか。

**答** 現状では、課税対象  
となる土地、家屋の所有  
者、もしくは納税義務者  
の把握には努めているが、  
免税点未満のものについ  
ては、把握をしていない  
状況である。

今後は、空き家対策、  
公共事業等で必要となる  
場合もあるので、全ての  
固定資産の現所有者の把

握に努めたい。

◎議案第39号 令和2年

度鴨川市一般会計補正予  
算(第2号)

**問** 感染防止マスク配付  
事業について、配付先及  
び配付マスクの性能は。

**答** 配付先は、支援が必  
要な独り暮らしの方や、  
児童・生徒のほか、医療・  
介護施設等を予定し、配  
付マスクは、ウイルスを  
抑制する抗菌特殊加工を  
施した洗濯可能な抗菌布  
を使用したもので、1日  
1回洗濯しても30回まで

抗菌効果が維持でき、伸  
縮性、軽量、UVカット、  
撥水性、防塵性といった

特色のあるものである。



**問** 独り暮らし高齢者に  
対する配付方法及び配付  
時期は。

**答** 市社会福祉協議会の  
訪問協力員に配付を依頼  
し、令和2年5月からの  
配付を予定している。

**問** 本市中小企業再建支  
援金の申請方法は。

**答** 原則、郵送での申請  
受付となるが、事情によ  
り、窓口での対面受付を  
希望される方については、  
商工観光課でも受付を行  
うこととした。

**問** 申請の要件と申請期  
限は。

**答** 売上高(令和2年1  
月から7月までのうち、  
任意の1月)が前年同月と

比較して50%以上減少し  
ている場合は該当となる。  
申請の期限は、県の中  
小企業再建支援金交付決  
定通知書の写しを添付書  
類とするため、県の制度  
の終期から多少の余裕期  
間を設けた令和2年10月  
末までとしている。

**問** 申請方法などのサポー  
トを行う相談窓口は開設す  
るのか。

**答** 申請の相談などは商  
工観光課にてサポートし  
ていく。

なお、市では令和2年  
5月中に、新型コロナウイルス感  
染症関係でお困  
りの方の電話相談窓口の  
設置を予定している。

**問** 農業従事者、漁業従  
事者は対象外となってい  
るが、その理由は。

**答** この事業は、県の支  
援事業に上乗せ支給を行  
うものであり、県におい  
ては対象外となっている  
ため、市としても同様の  
扱いとするものである。



**問** 今回の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の総額は。

**答** この交付金は、実施計画を定めただうえで、交付決定を得るもので、限度額として1億5313万3000円が示されている。

**問** 今回の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業の事業費総額は。

**答** 8432万8000円である。

**問** 交付金の限度額と今回の事業費総額との差額分6880万5000円の取り扱いは。

**答** 現在、さらなる実施事業の集約、精査を行っており、今後補正予算を組んで対応していく。

**問** 福祉資金貸付事業補助金の概要は。

**答** 市社会福祉協議会が実施する福祉資金貸付事業に、新型コロナウイルス感染症の影響により休業等で収入減となり、生

活に困窮された方などを対象に5万円を限度として生活支援貸付を行うコロナ特例貸付が創設されたため、この原資の拡充、業務体制強化に向けた補助を行うものである。

**問** 住居確保給付金事業の概要は。

**答** 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う離職、廃業、休業等により収入が減少し、住居を失うおそれのある方を対象に、世帯の区分に応じて原則3カ月、最大9カ月の家賃相当額を支給するものである。



◎議案第39号 令和2年度鴨川市一般会計補正予算(第2号)

賛成 杉田 至 議員

今回の補正予算の執行に当たっては、新型コロナウイルス感染症の影響でお困りの方の相談窓口

の一元化を図り、市民の皆さまにとって分かりやすい、特に子育て世代、高齢者や障害をお持ちの皆さまへも必要な支援が行き届くよう、また、早急に実施体制を構築され、補正予算成立後、速やかに給付等の手続きが可能となるよう、引き続き速やか、かつ丁寧な周知と申請支援体制等を確保するよう、特段な配慮をお願いする。

そして、新型コロナウイルス感染症の影響が収束に向かう兆しが明らかとなった際には、可及的速やかに市内消費の喚起や生活支援、加えて産業振興等に向けた新たな経済振興施策につき、積極的に取り組まれるよう、また、本市独自の中小企業再建支援事業については、今後、農業、漁業の分野についても支援可能となるようお願い申し上げます、賛成とする。

## 令和2年第2回鴨川市議会臨時会議決結果

### 【市長提出議案】

議案番号	件名	付託先委員会	委員会の審査結果	本会議の議決結果
議案第35号	専決処分の承認を求めることについて(鴨川市税条例等の一部を改正する条例)	付託省略		承認(全会一致)
議案第36号	専決処分の承認を求めることについて(鴨川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	付託省略		承認(全会一致)
議案第37号	専決処分の承認を求めることについて(鴨川市税条例の一部を改正する条例)	付託省略		承認(全会一致)
議案第38号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度鴨川市一般会計補正予算(第1号))	付託省略		承認(全会一致)
議案第39号	令和2年度鴨川市一般会計補正予算(第2号)	付託省略		可決(全会一致)

# 中学生 だより 17

このコーナーでは、市内の中学生の  
日ごろ感じていることや将来の夢など  
を紹介します。鴨川市議会は、そういっ  
た思いを後押ししていきます。



鴨川中学校  
3年  
石井 龍之介さん

## 学年会長になって

私は今年、学年会長になりました。普段あ  
まり気にしていなかったことに気配りしたり  
、今まで自分があまり感じていなかった  
「責任感」が生まれたり、新しい学校生活  
が始まってからあまり時間は経っていません  
が、この短い間で自分の中ではとても大き  
な変化がありました。

私達の学年の良い所は、元気で団結力があ  
るところだと思っています。今年はこのよう  
な状況で例年とは全く違うかたちになってい  
ますが、私達の良いところを生かして、こ  
んな状況にも負けないように頑張りたいで  
す。中学校生活の最後の年なので、仲間と  
思い出をつくりながら、楽しみながら、一  
生懸命にいろいろなことに取り組んでいき  
たいです。



安房東中学校  
1年  
齋藤 慶さん

## 僕の夢

僕の夢は箱根駅伝を走ることです。神野大  
地選手のような選手になりたいです。神野選  
手は、箱根駅伝の第5区の登り区間で「山の  
神」と呼ばれています。神野選手のような全  
力で走り抜られるあのスタミナとスピード  
を身につけるのが僕の今の目標です。

僕は小さい時から、走るのが大好きでした。  
みんなには「疲れないの?」とよく聞かれま  
す。僕の答えは決まって「疲れないよ、楽し  
いよ。」です。楽しいことをしているだけな  
ので、疲れません。嫌な気分の時も、走る  
と僕の気持ちが晴れていきます。家族で大会  
に参加することもあります。練習してきた全  
てを出し切って、ゴールした時の爽快感が  
とても好きです。走ることは、僕の心と体  
を強くしてくれているような気がします。

次の大会に向けて、今日も今から日課の2.5kmを走ります!

# 市議会を見る

次の定例会は

**8月28日(金)**

開会予定です

**新型コロナウイルス感染症  
拡大防止に伴う議会の対応**

## 議会の傍聴の自粛を お願いしています

市議会では、現在、感染リスクを下げるため、会議開催時にマスク着用や手指消毒、換気などの対応を徹底しておりますが、傍聴にお越しくださる皆さまの健康を守る観点から、当分の間、議会の傍聴の自粛をお願いしております。

なお、議会審議の様子は、ご自宅のパソコンなどでご視聴いただけますので、そちらのご活用をお願いいたします。

鴨川市議会

検索

お問合せは議会事務局まで。

電話 04-7093-7825

FAX 04-7093-7848



## 会議録の閲覧

過去の会議録は、市議会ホームページや図書館、公民館でご覧ください。

令和2年第2回定例会の会議録は、9月中旬ごろ掲載予定です。

編

集

後

記

「緊急事態宣言」は解除されたものの、その後も感染者が出続けており、第2波の到来が懸念されております。

また、長期間の自粛要請により、多くの企業が経営的にも大変苦しんでおり、本市においても市内経済の復興に向けた多くの支援事業が実施をされております。

さて、6月定例会において新たな組織・運営体制が決定されました。議会報編集委員会では、読みやすく分かりやすい議会だよりの編集に努め、今号より一般質問のレイアウトを1人半ページに変更し、要点を絞ったように分かりやすいものとしたしました。今後とも編集に当たり市民の皆さまに読んでいただける紙面づくりを心掛けてまいります。

(令和2年7月22日)  
(議会報編集委員会一同)